

ふるさと 資料紹介

＝(79)＝

史料と地名からみた

地区の歴史34

下米田(四)

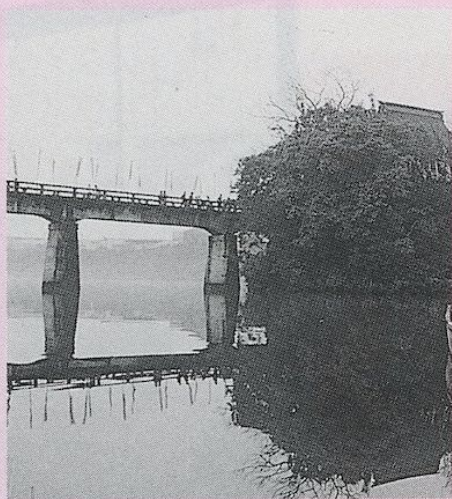
下米田町小山にある小山寺は、光徳寺の五世を開祖に明暦年間(一六五五―一六八八)に建てられました。

小山寺から飛騨川に浮かぶ小島にあるお堂へは、現在橋で行き来できるようになっています。もとは陸続きでしたが、ダムができたために浮かぶようになり、昭和14年(一九三九)に橋が架けられました。

このお堂は「小山観音」と呼ばれ、馬頭観音が祭られています。子宝を授かる観音としても有名ですが、当地方で養蚕が盛んであったため、養蚕の観音と

しての信仰も集めてきました。3月の第一日曜日に開かれる初午の祭礼では、参詣人は繭の形をしたハツウマダンゴを授かったり、河原の石を拾って蚕のお守りとしたそうです。

現在「小山観音」は、市指定の名勝となっており、初午祭や桜の季節、夏祭りには多くの人で賑わいます。



▲飛騨川に浮かぶ小山観音

今回は、次の方から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございます。

(平成九年十二月分)

○ダンスなど九点

(渡辺昌宏さん／古井町)

○トワウチ(唐箕)

(田中義弘さん／野笹町)

○針箱など十一点

(酒向辰美さん／蜂屋町)

博物館建設のため、現在いろいろな資料を収集しています。文化課(文化会館内／圃内四〇八)まで情報をお寄せください。